

# 茨木地区 謹賀新年 保護司会だより

人はみな、  
生かされて  
生きてゆく。  
更生保護ネットワーク



高島伊太郎顕彰碑  
(横江1丁目にある沢良宜浜1丁目共同墓地内)



水神社

高島伊太郎と水神社  
(高浜町)

南高島家は江戸期歴代庄屋を務め、維新时期に区長であった高島伊太郎は明治11(1878)年2月、度重なる水害を解決するため神崎川改修工事の御用掛となり私財を売り払って工事を進め明治11年7月に完成させた。村々から伊太郎への感謝を表したいと、翌年沢良宜浜の氏神道祖神社北側に水神社を創設し水神二柱と高島伊太郎命を祀った。現在も毎年4月に祭礼が行われている。  
(文責: 畠山眞悟保護司 写真資料提供: 茨木市文化財愛護会理事中井晃氏)

## 年頭のご挨拶



茨木地区保護司会 会長 田畑 敬

新年明けましておめでとうございます。昨年5月には、大津の保護司の方々が、対象者に殺害されるというショッキングな出来事がありました。法務省の検討会において、保護司の安全確保に際し、保護司の複数担当、サポートセンターの複数設置、オンライン面接の活用などが提案されました。茨木地区保護司会におきましても、出来るだけ自宅以外の面接を推奨し、

新年明けましておめでとうございます。定例会を、おにクルの会議室で開催するようになり、10月にはサポートセンターを合同庁舎の6階に移転したりと、何かと忙しい年となりました。サポートセンターは、場所的には、少し不便になりましたが、6階からの眺めは最高ですので、お近くにいられたら、是非立ち寄りください。

昨年5月には、大津の保護司の方々が、対象者に殺害されるというショッキングな出来事がありました。法務省の検討会において、保護司の安全確保に際し、保護司の複数担当、サポートセンターの複数設置、オンライン面接の活用などが提案されました。茨木地区保護司会におきましても、出来るだけ自宅以外の面接を推奨し、

新年早々暗い話になりましたが、保護司制度というのは世界から見ると画期的な制度です。犯罪等からの立ち直りにおいては信頼関係を構築し、相手の変化に影響を及ぼすことが重要で、日本の制度は革新的で、維持されるべきものだと高く評価されています。そして世界各国で保護司制度の導入が検討されており、フィンランドでは導入され、成果を上げているそうです。皆様におかれましても、保護司制度は世界に誇れる素晴らしい制度である事をご理解いただき、これからも更生保護活動にご協力の日々をお願いいたします。



## 茨木市更生保護サポートセンター

電話 072-620-8310  
はんざいゼロ

非行・犯罪に関する相談をお聞きします。秘密は厳守します。  
来所の際は必ず電話予約をお願いします。

【開所時間と相談予約の受付時間】 平日 10時～16時 (祝日と年末年始は除く)

【所在地】 茨木市役所合同庁舎6階 (茨木市東中条町2番13号)

予約をすれば夜間、土曜日、日曜日に相談することも可能です。

※平素は、保護観察対象者やその家族との面談、保護司の研修、更生保護関係団体相互の情報交換、会議などに使用されています。

## 茨木市更生保護サポートセンター 通信

### 新しいサポートセンターの様子



### ★令和6年度上半期の利用状況★ (R6.4.1 ~ R6.9.30)

保護観察官の定期駐在	4回
保護観察対象者との面談	68回
保護司会	11回
更生保護女性会	37回
茨木BBS会	8回
更生保護推進協議会	1回
更生保護協力雇用主会	3回
その他	0回
市民からの相談	0回
保護司来所人数(延べ人数)	331人

開所日数	4月	5月	6月	合計
	21日	21日	20日	
	7月	8月	9月	124日
	22日	21日	19日	

茨木地区 事件係属状況	保護観察 件数	生活環境調整件数	
		刑務所等	少年院
令和6年4月	35	35	5
令和6年5月	35	37	6
令和6年6月	41	39	7
令和6年7月	40	39	6
令和6年8月	41	39	6
令和6年9月	42	38	8

(各月末日現在)

夏には育ち直しを学ぶ

次は八月の夏季一日研修会で

今年度の六月は更生保護推進協議会会長の掛谷氏の講演でした。茨木市では早くからこのような協議会が運営され、我々保護司会など更生保護に携わる団体に支援をいただいています。掛谷氏は先輩に頼まれ、自身の会社に対象者を雇ったことから更生保護と関わることとなり、関連する書籍や映画などから深く幅広く情報を持ってもらいます。犯罪に手を染めてしまうその源に貧富の格差を強調されました。残念ながら掛谷氏はこの講演後長きにわたる会長職を退かれました。



講師：岡崎氏

掛谷前会長の想いを聞く

今年度の六月は更生保護推進協議会会長の掛谷氏の講演でした。茨木市では早くからこのような協議会が運営され、我々保護司会など更生保護に携わる団体に支援をいただいています。掛谷氏は先輩に頼まれ、自身の会社に対象者を雇ったことから更生保護と関わることとなり、関連する書籍や映画などから深く幅広く情報を持ってもらいます。犯罪に手を染めてしまうその源に貧富の格差を強調されました。残念ながら掛谷氏はこの講演後長きにわたる会長職を退かれました。

臨床心理士より学ぶ

この三月まで私自身が担当した対象者はADHD傾向の少年。育て辛い面があったか母親が包

学び合う自主研修会



研修部部長 上沼 愛子

研修部は年に四〜五回の自主研修を開催しています。今年度は四回の研修となりました。研修部員の興味のあるところや、普段の何気ない雑談から皆さんの意見を参考にテーマを決めています。

す。研修部では最大のイベントとなり、早くからの準備が必要です。過去には一泊二日の研修会があったようですが、十年目の私は経験していません。今年も昨年同様、講演、グループ討議、最後に落語を楽しむ一日研修でした。

丁を突き付けてきた、勝手に自分の物を捨てた等生育環境に支障があったようでした。特に幼少期において、温かく信頼できる大人がいる環境が得られなかった対象者に向き合う時、どのようなことを心がければいいのか。メンタルワークス大阪の臨床心理士岡崎氏を茨木保健所から紹介していただきま

した。また、犯罪白書には少年院少年鑑別所に入る少年の八割強がこのような幼少期の成育歴があったとありました。幼少期の生育環境が人格形成に影響をもたらすことは事実であり、育ち直すイメージを持つことが大切であると岡崎氏は言われました。諦めがちになってしまっても自分もありませんが、変わる可能性を捨てるわけにはいかないと改めて思いました。

自分の話すことに興味を示し聞いてくれ、親身になってくれると感じる、そんな大人に出会うことが変われるきっかけになるはず。私達保護司はその出会いを経験させてもらっています。ただ私達が対象者と出会っているのは多くは一〜二年であって、育ち直しを見届けるには短すぎます。それでも心に残る信頼できる人だったと感じてもらうことはできるのではないのでしょうか。

自分の話すことに興味を示し聞いてくれ、親身になってくれると感じる、そんな大人に出会うことが変われるきっかけになるはず。私達保護司はその出会いを経験させてもらっています。ただ私達が対象者と出会っているのは多くは一〜二年であって、育ち直しを見届けるには短すぎます。それでも心に残る信頼できる人だったと感じてもらうことはできるのではないのでしょうか。

イオンモール茨木矯正展 ~刑務所作業製品展示即売会~

〔日程〕令和7年3月15日(土)・16日(日)
〔場所〕イオンモール茨木1階ジョイプラザ



社会を明るくする運動茨木市推進委員会事務局

令和7年3月15日(土)・16日(日)に、社会を明るくする運動茨木市推進委員会主催の「イオンモール茨木矯正展」を開催します。刑務所作業製品の展示や即売会を行うこのイベントは、「社会を明るくする運動」の一環として、犯罪のない明るい社会の実現と更生保護活動の啓発を目的としており、売上金の一部は刑務作業の原材料費や犯罪被害者支援団体の活動等の助成に充てられます。

今年度の矯正展では、昨年度に引き続き、刑務所作業製品に加え、浪速少年院による院生作業製品の展示・販売や、茨木BBS会によるお子さま向けの輪投げコーナーを企画しています。

また、今年度の矯正展のポスター・チラシのデザインは、浪速少年院の院生の方に制作を依頼しております。公民館や図書館等に掲示・配布を行いますので、ぜひご覧ください。

社会を明るくする運動茨木市推進委員会では、保護司をはじめ、様々な市民団体の協力を得ながら、「いばらき×立命館DAY」への出店や、市民大会の実施、駅構内での啓発ポスターの掲示等を行っています。矯正展をきっかけに「社会を明るくする運動」や更生保護活動に興味を持っていただければ幸いです。皆さまぜひお越しください。



昨年度の様子



矯正展でお買い上げいただいた各日先着500名様にオリジナルグッズ(メモ帳・クリアファイル)をプレゼントします!



社会を明るくする運動 シンボルマーク

第74回 社会を明るくする運動 市民大会

令和6年7月20日 おにクルにて



ご参加・ご協力 ありがとうございます。

話し合い・落語で笑う

午後には四〜五人でグループ討議。対象者のことで困ったり、悩んだり、工夫したことなどを話し合いました。グループ討議は交流の場として、先輩方の経験談を聞ける場として貴重な機会となっております。



更生保護施設を学ぶ

十月の自主研では更生保護施設について、大阪保護観察所の山崎観察官に講義を受けました。

様々な犯罪からの立ち直りを話す

十二月の最後の自主研は、類型別処遇ガイドラインによる類型別のグループ分けをし、担当する対象者の類型グループで事例検討をしました。同じ類型であっても対象者によりありますが保護司のそれぞれの対応が広がるように思います。



今後自主研修会がより充実していけますよう皆さんの興味関心の持てるところを聞かせていただければ幸いです。次第です。

※犯罪等の内容(薬物・性犯罪・DVなど)を類型に分けて立ち直りの支援を行うこと。

特集

寄稿 社会復帰と「塀」の高さ



前茨木市更生保護推進協議会会長 掛谷建郎

茨木市更生保護推進協議会会長を令和六年六月十七日の総会をもって退任されました掛谷建郎氏に、更生保護への想いを寄稿していただきました。

坪内寿夫氏の「塀のない刑務所」

「ひととは誰でもしあわせを求めがして旅をする／だけれどどこかで道にはぐれて奈落におちる人がいる」で始まる「愛をみんな」で更生保護女性会の合唱で何度か聞きました。「分け合いますよ涙を夢を／更生保護会世界を結ぶ」で終わるこの歌は、鳥羽一郎が歌う「来島海峡」のCD(1997年)のカップリング曲です。



新来島どつく大西工場

「塀のない刑務所」と呼ばれるこの施設で、受刑者は一般の作業員に交じって働きます。坪内氏をモデルにした小説「大将」を書いた作家・柴田錬三郎は、工員の一人に「刑務所の者と一緒に働くことに抵抗を感じませんか？」と聞いています。返事は「いいえ。みな、まじめで、よく働いて、僕らがおられるくらいです」でした。

塀の内外をつなぐ橋渡し

「塀のない刑務所」について、健康社会学者の河合薫さんは「物理的な壁をなくすことが心の壁をなくす」と書いています。徹底的に監視される塀のある刑務所ではみられない人間関係の「温度感」が、大井作業場には漂っていたというのです。

2018年4月、作業場から1人の受刑者が脱走、捕まるまでの3週間余りマスコミも大騒ぎしました。結果、玄関ドアは職員のみが鍵を開けられるよう

にするなど自由度を制限、監視体制も強化されました。それでも受刑者の自主性を尊重する「塀のない刑務所」は今後、重要性を増すでしょう。矯正協会の藤本哲也会長は、大井作業場のような「開放処遇」は「世界の趨勢」と語っています。「すべて命令で動く施設内処遇(刑務所)」から一般社会への橋渡しが必要になるからです。

ノルウェーは「外と同じ生活」

米国の映画監督マイケル・ムーア氏が映画「世界侵略のスヌメ」(2015年)で紹介したノルウェーのバストイ刑務所(模範囚用)では自然の中に別荘風の



ノルウェー

バストイ刑務所

ハルデン刑務所

建物に散らばり、個室の鍵は収容者自身が管理しています。冒頭、監督を自室に案内するのは自転車に乗った受刑者です。映画では殺人犯が調理のため包丁を使う場面も出てきます。刑務所長は「自由の制限が唯一の罰。家族や友人と離れることで、温かさを思い出ししてほしい」と語っています。

隣人になる人」と前置きし、「私たちの仕事は、良き隣人を育て、釈放すること」と言っています。音楽スタジオについては、「釈放された時に趣味があるのが大事。薬より音楽にはまるほうがずっとよい」。

「できるだけ外と同じ生活ができるようにする」ノルウェーの刑務所は、受刑者の社会復帰に焦点を合わせています。被害者やその家族はこんな刑務所のあり方をどうみているのでしょうか。同じ記事の中で、娘を殺された母親は葛藤を認めながらも、「懲らしめではなく

「懲らしめ」か「社会復帰」へ

再犯を減らすために1990年代後半から大胆な刑務所改革に踏み切ったノルウェーとは比較になりませんが、日本でも最近、「懲らしめ」から「社会復帰支援」に刑罰の重点を移す流れが明確になってきました。

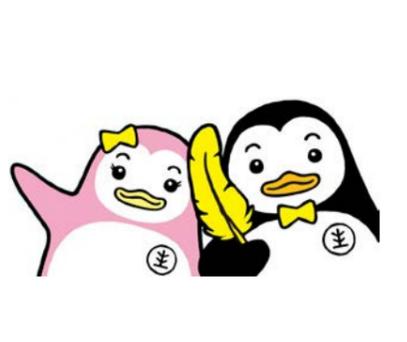
再犯防止のためのアプローチが大切」と答えています。被害者感情の緩和に寄与しているのは手厚い被害者救済制度でしょう。「暴力犯罪補償庁」は被害者に対する国からの補償金額を決定するほか、被害者に代わって加害者に賠償金を請求する役割を担っています。

再犯防止は国民的課題

ただ、刑務所改革は緒に付いたばかりです。「塀のない刑務所」も小規模なものが6カ所あるだけで、大井造船作業場で働く受刑者は全国から選抜された10人余りにすぎません。毎年約10万人の犯罪検挙者の半数近くが再犯者です。再犯をなくすには出所者が塀の外で普通に暮らす必要があります。厳罰だけで犯罪は減らせるのかどうか、国民的な議論が不可欠でしょう。

「罪を憎んで人を憎まず」という格言があります。孔子の言葉が語源だそう。聖人ならぬ人間には簡単ではありませんが、人を憎んでいるだけでは犯罪の連鎖は断ち切れません。再犯のみならず、そもそも犯罪を生まない社会づくりも必須です。非行少年や受刑者の生育の背景に、家庭崩壊や貧困、教育格差など社会の階層化が横たわっていることは明らかです。

経済格差の拡大をどう止めるか、健全な社会を維持するため



- 茨木市更生保護推進協議会 は1996年(平成8年)発足
- 「立ち直りをみんなで支える明るい社会」を創造するために、他団体による更生保護活動の円滑な実施のための協力支援、そして更生保護の理念を広報活動を行っています。より広く市民の理解と協力を得るため、次の事業を行っています。
- 1 社会復帰者に対する、雇用促進のための協力
  - 2 更生保護の理解のための研修
  - 3 機関誌(更生協会報)の発行
  - 4 「社会を明るくする運動」への参加と啓発
  - 5 更生保護団体への協力及び助成
  - 6 更生保護事業の積極的推進
- 茨木市更生保護推進協議会への入会・協賛については、事務局(茨木市役所地域福祉課)までお問い合わせください。(茨木市ホームページより)



1996年(平成8年)茨木市更生保護推進協議会発足 写真は創立20周年記念大会の様子



木元 美子



松本早智子



山本 隆俊

### 法務大臣表彰

◎詳しい内容については次号でお知らせします。



山野 右子

### 藍綬褒章

受章お祝い申し上げます

## 保護司会 動静

### 管外一日研修



11月5日小春日和の天候に恵まれ、保護司24名・更生保護女性会10名の合計34名にて和歌山刑務所を訪問しました。筆者は初めての刑務所訪問で少し緊張していましたが、外壁の色がライトグリーンで、建物



いる等の説明を拝聴の後、いざ施設の中へ。整理して各作業室の見学。作業室は広く、日用品を製作中でした。刑務官3名が全体を目標

単独室が長い廊下の両サイドにずらりとありました。一人当たりのスペースは、畳約一枚分。きちんと折たたんだ布団・枕・紺色の荷物入れが整然と並んでいました。トイレもすりガラスでプライバシーはかろうじて守られていました。洗面所も設置されてい

### 市長との意見交換会

11月29日市役所にて福岡洋一市長はじめ関係部長方に列席いただき、保護司会理事方との懇談会が開かれました。保護司側からは、主に3点の提案を行いました。

- ①持続可能な保護司制度の確立にむけ、市役所関係職員への積極的な働き掛けを可能に出来るようにしていただきたい。
- ②サポートセンターの移転についての広報をお願いしたい。
- ③保護司の安全確保について殺人事件等もあり、自宅以外の面接場所の設置の充実・無償化等をお願いしたい。

います。刑務所作業製品の展示即売所も併設されており、エプロンやバッグ、木製品など種類も豊富に取りそろえられています。見学終了後、記念写真を撮り、一路茨木へ。貴重な体験をさせ

ていただき有り難うございました。※病气や事故で頭髪を失った子どもたちに、寄付された髪の毛で造ったウィッグを無償で提供する活動。(厚生部 竹村ルミ子)



### 更生保護制度施行七十五周年記念大阪大会

令和六年十月三十一日(木) フェニーチェ堺 茨木地区からは次の方々表彰されました。(敬称略)

- 法務大臣表彰
  - 山本 隆俊 松本早智子
  - 木元 美子
- 全国保護司連盟理事長表彰
  - 福元 康行 植田 孝子
  - 西浦 章雄 西田 照子
- 日本BBS連盟会長顕彰
  - 米川 勝利(BBS会顧問)
- 近畿地方更生保護委員会委員長表彰
  - 大神 硬司 射場 一之
  - 上沼 愛子 辻 輝也
  - 若山香寿美
- 近畿地方更生保護委員会委員長感謝状
  - 太田 景子(更生保護女性会)
- 近畿地方保護司連盟会長感謝状(家族)
  - 辻 清一
- 大阪保護観察所 所長表彰(保護司功労)
  - 古賀ひでみ 兼光 徳郎
  - 竹村ルミ子 藤 慶哉
- 大阪保護観察所所長感謝状
  - 野村由紀子(更生保護女性会)
- 大阪保護司会連合会会長表彰
  - 安間 明頼 久保 博
- 大阪保護司会連合会 会長感謝状(家族)
  - 松本 雅裕 山本 明子

### 敬弔(名誉会員)

故 原田 弘毅氏  
令和六年七月二十七日(逝去)

生前のご芳情に心より御礼申し上げます。

### 新任保護司です。

川崎 詔子  
令和六年九月二十五日付 (養精中学校区)

### 退任保護司

橋井 千賀子氏  
令和六年九月二十四日付 (厚生部部長)

### 村山 健三氏

平成二十二年九月二十五日(逝去)  
令和六年九月二十四日付 (組織部部長)

### 編集後記

- 茨木地区保護司会だよりの表紙の茨木探訪の記事を毎回楽しみにしています。(D)
- 一人もたついても広報紙は発行される。毎回、皆さんの”チカラ”に感謝・感謝・感謝！(N)
- 実りの秋も終盤になりました。畑のさつま芋、掘るのが遅れてお化け芋です。旬が大事ですね。保護司会だよりは、旬の記事をお伝えしています。(N)
- 10月より移転した更生保護サポートセンターにお越し下さい。景色がとても良いです。(T)



令和6年10月31日、フェニーチェ堺において、更生保護制度施行75周年記念大阪大会が開かれました。茨木地区保護司会からも、表彰を受ける保護司等が参加しました。記念講演では、「地域社会に貢献する更生保護」と題して、前保護局長の宮田祐良氏が登壇

### 更生保護制度 施行75周年記念 大阪大会